
生ある者達へ（想い）

聖魔光闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

生ある者達へ（想い）

【Nコード】

N5941R

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

現段階で思い付く励ましの言葉は、ここに投稿する事だけ。敢えて小説ではない文章を投稿しています。

（前書き）

頑張ってください。軽い言葉に聞こえるかもしれませんが、精一杯の言葉です。

死者の弔いも大事だ。しかし、現在を生活している人間を守る事は更に大事だ。

死者は、運命という言葉をつかえば、余りにも残酷かも知れないが、運命と考えれば天寿を全うしたと思ひ込む事が出来る。

しかし、生者はそうではない。現在を生き、現在に苦しんでいる苦しみの中で、もがきながら生き続けている。

天災にて、その命を絶たれた者は天寿を全うし、極楽浄土へ旅立ったと思えば良い。

悔しいだろうが、それが生者に託された死者への最上の弔いではないだろうか。

天寿は、いつどこでやってくるかわからない。

生者の今やるべき事、それは天寿を全うした者の分まで、生きる事。生き延びる事ではないだろうか。

そんな事はわかつていられるかもしれない。

悲しみに明け暮れ、生気をなくした者達が近くにいたら、そう伝えてやって欲しい。

信じる宗教。信仰する宗教は、それぞれ違うだろう。

しかし、死者は異世界に行くのだという概念は変わらない筈だ。

極楽浄土なのか、天国なのか、それはわからないが、天寿天命を全うし、現世から、異界に旅立ったのだ。

生ある者が、その繋がり解いてやらねば、死した者は異界へ旅立つ事も許されず、現世をさまよう事になる。

死者の弔いは、生者が自分自身の生活を確立してから行えばいい。まずは生きる事。生き延びる事。そして、自分自身の生活を確立し直す事。

これこそが、死した者達への最上の弔いになると思う。

『皆様、街がさらわれ、人がさらわれ、命がさらわれ、生活がさらわれ、なにかもがさらわれたような気になっているかもしれないが、あなたの命は、さらわれていません。あなたの未来も、さらわれていません。辛い現実でしょう。苦しい現実でしょう。それでも、あなたはあなた達は生きているのです。死した者達によって、生かされているのです。その命を無駄にする事なく、生きてください。現地にいない愚者の呼びかけかもしれません。しかし、私は何故か、見知らぬあなた達に生きていて欲しい。……そんな想いを届けます』

（後書き）

生きる事は、死した者への弔いだと思いませんか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5941r/>

生ある者達へ（想い）

2011年10月8日01時07分発行